２０２４年　８月　７日
東日本旅客鉄道株式会社
西　武　鉄　道　株　式　会　社

JR 東日本と西武鉄道は、「リアルタイムデータ連携基盤」を通じ、Apple マップと連携しました

〇東日本旅客鉄道株式会社（東京都渋谷区　代表取締役社長：喜勢　陽一／以下「JR 東日本」）と西武鉄道株式会社（埼玉県所沢市　代表取締役社長：小川　周一郎／以下「西武鉄道」）は、JR 東日本が運営するリアルタイムデータ連携基盤を活用し、列車の遅れ時間や在線位置などのリアルタイムデータを交通案内サービス提供事業者に提供しています。
〇このたび、JR 東日本と西武鉄道は、リアルタイムデータ連携基盤を通じて、列車の遅れ時間や在線位置を Apple マップに提供しました。これにより、Apple が運営する Apple マップに JR 東日本と西武鉄道の実際の運行情報を表示します。

1. Apple マップへのリアルタイムデータ提供の概要

JR 東日本と西武鉄道はリアルタイムデータ連携基盤を活用し、リアルタイムデータを Apple マップ(※)に提供しました。これにより Apple マップを利用した際に、経路検索結果に実際の列車の遅れ時間を反映させることや、マップ上にリアルタイムな列車の走行位置を表現することができるようになります。

＜Apple マップ画面イメージ（JR 東日本）＞

●経路一覧画面　●経路詳細画面　●途中駅表示画面



(※)Apple マップ：Apple の地図アプリケーション。地図のほか、自動車、徒歩、および公共交通機関のナビゲーションや到着推定時刻を提供する。

＜Apple マップ画面イメージ（西武鉄道）＞

●経路一覧画面　●経路詳細画面　●途中駅表示画面



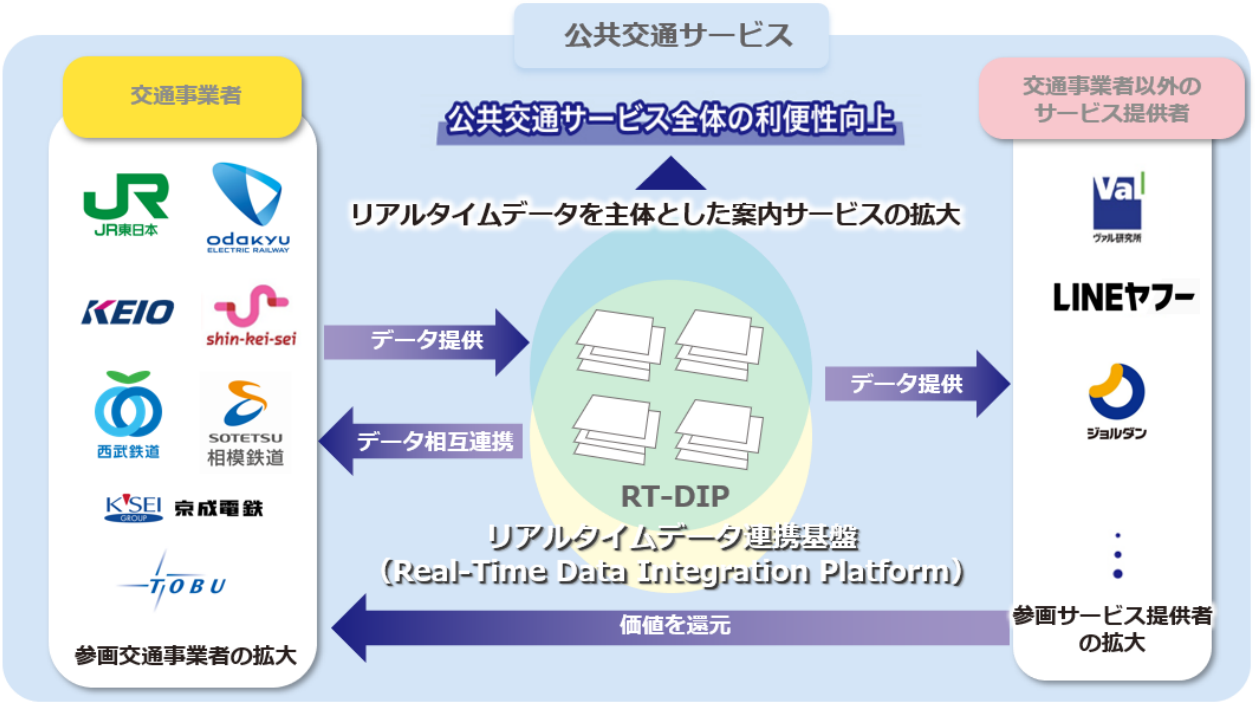
2. リアルタイムデータ連携基盤の参画事業者の拡大

2023年2月のリアルタイムデータ連携基盤の運用開始以降、リアルタイムデータ連携基盤の更なる機能拡大に取り組むとともに、交通事業者及び交通案内サービス提供事業者の更なる参画に取り組み、リアルタイムデータを主体とした交通案内サービスの更なる向上を目指しています[*1][*2]。このたび、8 月 7 日より、Apple が交通案内サービス提供事業者に加わりました。

〇参画事業者（2024 年8月7日時点）

交通事業者：JR 東日本、小田急電鉄、京王電鉄、西武鉄道、新京成電鉄、相模鉄道、京成電鉄、東武鉄道

交通案内サービス提供事業者：ヴァル研究所、LINE ヤフー、ジョルダン、Apple



※1：2023年２月21日プレスリリース（https://www.jreast.co.jp/press/2022/20230221_ho03.pdf）
※2：2023年３月24日プレスリリース（https://www.jreast.co.jp/press/2022/20230324_ho02.pdf）

＜リアルタイムデータ連携基盤＞ 略称：RT-DIP（Real-Time Data Integration Platform）
複数の交通事業者間でリアルタイムデータの集約及びデータ活用が可能となります。また、交通事業者は、経路検索などの交通案内サービス提供事業者へ自社のリアルタイムデータを提供できるようになります。